

平成 15 年度事業概況

平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで

1. 定時会員総会に関する事項

平成 15 年 5 月 27 日、アクチュアリー会五反田会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 14 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 15 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 14 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 15 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 会費分担に関する件
- 第 6 号 定款の一部変更に関する件
- 第 7 号 役員選任に関する件

を諮り、原案どおり承認された。

2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 3 社、退会 3 社、個人会員については入会 199 名、退会 163 名（うち死亡 2 名）があり、平成 16 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

入会賛助会員

Gen Re

三井住友海上ファイナンシャル生命保険株式会社
ワソクワット インシュランス コンサルティング 株式会社

以上 3 法人

退会賛助会員

日動生命保険株式会社

安田生命保険相互会社

三井ライフ損害保険株式会社

以上 3 法人

名 誉 会 員	8 名
正 会 員	1,050
準 会 員	805
研 究 会 員	1,589
小 計	3,452
賛 助 会 員	107
合 計	3,559

3. 事業概況

〔試験関係〕

(1) 平成 15 年度資格試験の実施

平成 15 年 12 月 24 日、25 日、26 日の 3 日間、東京（早稲田大学理工学部）大阪（大阪証券会館）中国の北京（对外経済貿易大学）および成都（西南財経大学）の 4 都市で実施し、平成 16 年 2 月 19 日に合格者を決定した。受験科目総数は 3,322、うち合格科目数は 666、全科目合格者は 53 名であった。なお、中国における申込科目総数は 43、うち受験科目総数は 24、合格科目数は 1 であった。

(2) 試験教育制度の改正について

平成 17 年度の資格試験より、試験範囲に「モデリング」を加えることとした平成 14 年度の理事会決議を受けて、「モデリング」のテキストを現在作成している。会員への「モデリング」に対する周知を図る観点から、アクチュアリージャーナルを通じて「モデリング」のテキストに関する連載を開始した。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(3) 平成 15 年度アクチュアリー講座の実施

会員の教育制度として、東京においてアクチュアリー講座を平成 15 年 5 月 6 日から 12 月 18 日の期間で実施した。基礎講座 10 科目、特論講座 7 科目が開講され、受講者数は基礎講座 112 名、特論講座 39 名であった。

(4) 平成 15 年度年次大会・IT 研究大会の開催

平成 15 年 11 月 12 日、13 日の両日、経団連会館、大手町サンケイプラザ、日生日比谷ビル国際ホールにおいて開催した。

年次大会初日における特別講演は、午前の部において「日本経済再生の戦略～生活産業創出のすすめ～」のテーマで慶應義塾大学経済学部教授 島田 晴雄氏により、午後の部において「英国アポイントド・アクチュアリーの変わりゆく役割」のテーマで英国アクチュアリー会 (IOA) 会長 Jeremy Goford 氏と「アクチュアリー：その役割、専門性と活動領域」のテーマでオーストラリアアクチュアリー会 (IAAust) 副会長 Andrew Gale 氏によりそれぞれ行われた。

また、IT 研究大会の特別講演は「信頼されるシステム部門 S E の条件」のテーマでグローバルナレッジネットワーク(株)副社長 馬場 史郎氏によって行われた。

(5) 例会の開催

第 1 回例会 平成 15 年 5 月 23 日 (於：損保会館)

「重度疾病保険のリスク分析およびマネジメント」 Adrian C T Mak 氏 (Gen Re)

第 2 回例会 平成 15 年 6 月 26 日 (於：こまばエミナース)

「ソルベンシー評価の世界的枠組みの検討状況」 河野 年洋 君 (ニッセイ同和損害)

第 3 回例会 平成 15 年 10 月 17 日 (於：こまばエミナース)

「IAS Phase for Insurance Contracts - Implications」

(IASB が 2003 年 7 月 31 日に公表した公開草案第 5 号「Insurance Contracts」について)

J. Peter Duran 氏 (アソスト アンド ヤング グローバル フィナンシャル サービス)

第 4 回例会 平成 15 年 11 月 26 日 (於：生命保険協会講堂)

「ダイレクトマーケティングおよびテレマーケティングについて」

Paul Barber 氏 (トランスアメリカ再保険)

第 5 回例会 平成 16 年 2 月 3 日 (於：こまばエミナース)

「人口動態の変化が日本保険市場に与える影響」

Robert J. Pokorski 氏 (Gen Re Worldwide Medical Research & Development)

第 6 回例会 平成 16 年 3 月 11 日 (於：こまばエミナース)

「コンピュータ・ウイルス 脅威のメカニズム～数々の巧妙な仕掛けを解く～」

勝村 幸博 氏 (日経 BP 社)

(6) 研修例会の開催

第1回研修例会 平成15年5月29日(於:生命保険協会講堂)

「米国企業年金事情」 千保 喜久夫 氏(財団法人シニアプラン開発機構)

第2回研修例会 平成15年8月20日(於:生命保険協会講堂)

「保険の国際会計基準と損害保険負債の時価評価」 浜野 雅章 君(三井住友海上)、
森本 祐司 君(エリカ・コンサルティング証券)、田口 茂 君(東京海上)

第3回研修例会 平成15年10月28日(於:損保会館)

「フランスに於ける介護保険のプライシング、引受基準、各国の介護保険事情」

Lucie Taleyson 氏(スコル再保険会社)

第4回研修例会 平成15年12月10日(於:生命保険協会講堂)

「国際財務報告基準 公開草案 ED5号『保険会計』」

三石 宣史 君(ワソクワイット インシュアランス コンサルティング)

第5回研修例会 平成16年2月25日(於:損保会館)

「保険料率決定の新しい方向:伝統的な料率決定原理を見直す」

森平 爽一郎 氏(慶應義塾大学総合政策学部教授)

第6回研修例会 平成16年3月17日(於:損保会館)

「変額年金保険等の最低保証リスクに係る責任準備金の積立等について」

野呂 順一 君、渡部 仁 君(日本生命)

(7) セミナーの開催

正会員および準会員を対象に下記の4テーマについて相互研鑽を目的に7月よりムーンライトセミナーを実施した。

Embedded Value の理論と実務

寺島 文雄 君(ミアホールディングス)

服部 真 君(アイヌビ-生命)

堀川 隆 君(ポストン・コンサルティング)

Applied Actuarial Modelling の基礎学習

種村 尚 君(トランスアメリカ再保険)

山内 恒人 君(ソニ-生命)

Asset Pricing 理論と生保負債の Fair Value

穴澤 禎一 君(ミュ-ニックリ-)

損保の負債時価評価におけるシミュレーション手法

浜野 雅章 君(三井住友海上)

(8) 正会員研修の実施

平成16年3月16日、損保会館において、正会員および準会員を対象に下記の研修内容で実施した。今年度の受講修了者は正会員61名、準会員53名であった。

アクチュアリーと行動規範について

小林 修 君(明治安田生命)

生保のプロフェッショナルリズム

猪ノ口 勝徳 君(日本生命)

損保のプロフェッショナルリズム

久保田 均 君(セコム損害)

年金のプロフェッショナルリズム

位田 周平 君(三菱信託)

大山 義広 君(三井アセット信託)

(9) 研究会活動

現在以下の12の研究会で活発な研究を行っている。各研究会の活動状況等について、当会ホームページに掲載するとともに、研究成果として纏まったものについては、会報別冊等を通じて公表した。

外国文献研究会	生保計理に関する基本問題研究会
ASTIN 関連研究会	巨大リスク研究会
損保計理研究会	損保数理ロスモデル研究会
年金基礎研究会	年金理論研究会
医療保険研究会	AFIR 関連研究会
デリバティブ研究会	ALM 研究会

〔委員会・部会活動〕

(10) 実務基準の整備・拡充

- イ。「退職給付会計に係る実務基準」を日本年金数理人会と共同で平成15年11月に改定した。
- ロ。「生命保険会社の保険計理人の実務基準」については、実質資産負債差額に係る業務停止命令の発出に係る金融庁の事務ガイドラインの改正を受け、平成16年2月に所要の改定を行った。

(11) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準および保険監督の国際基準についてはそれぞれIASB(国際会計基準審議会)ならびにIAIS(保険監督者国際機構)において精力的な検討がなされ、それぞれの機関会員であるIAA(国際アクチュアリー会)ではアクチュアリー専門職団体として主に保険負債の測定等に関する技術的な支援を行っている。IAA正会員メンバーである当会においても、生保委員会、損保委員会に関連の部会を設置し検討を進めるとともに、IAAの委員会活動に積極的に参画し、意見表明を行った。

(12) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成15年10月30日に開催された第9回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表1996(死亡保険用)」については、引き続き使用することが妥当であると判断された。また、「生保標準生命表1996(年金開始後用)」については、早期の改定の必要性があり、今後、監督官庁と連携して対応を進めていくこととされた。

(13) 金融庁からの検討要請への対応

平成15年6月、金融庁監督局より、「変額年金保険等に係る責任準備金の積立ルールについて」(金監第2219号)により、最低保証付の変額年金保険等の責任準備金の積立に関する論点整理と積立ルールの原案作成について検討要請があった。当会では7月に「変額年金保険等の最低保証リスクに係る特別部会」を設け検討を開始した。「特別部会」では、その審議と並行し研究WGを下部組織として設置し、アメリカ・カナダの状況調査も実施した。「特別部会」では金融庁からのオブザーバー参加を含むメンバーにより、活発な審議を行い、平成15年12月の理事会において「変額年金保険等の最低保証リスクに係る責任準備金の積立等について」を報告するとともに、金融庁に報告書の提出を行った。

(14) 情報提供機能の充実

- イ．各委員会・部会の活動状況等について当会のホームページに情報を掲載した。
- ロ．諸外国のアクチュアリー会の刊行物に掲載されている記事の一部について、その概要の紹介を当会のホームページにおいて行った。
- ハ．会員への情報提供の充実に加え、アクチュアリー専門職に関する一般向けの情報提供の充実を図ることを目的として、ホームページの大幅な見直しを行った。

〔国際関係〕

(15) IAA 活動

本年度はシドニー会議（平成 15 年 5 月 14 日～17 日）、ベルリン会議（平成 15 年 11 月 21 日～27 日）に委員を派遣した。

平成 15 年度末現在の当会の IAA 委員会等の委員は以下のとおりである。

Accreditation Committee	寺阪 元之 君
Education Committee	日笠 克巳 君
Insurance Regulation Committee	河野 年洋 君
Working Party on Insurer Solvency Assessment	河野 年洋 君
Insurance Accounting Committee	阿比野 裕 君
〃	藤井 康秀 君
Reinsurance Subcommittee	藤井 康秀 君
Subcommittee on Actuarial Standards	阿比野 裕 君
〃	藤井 康秀 君
Advice and Assistance Committee	吉村 雅明 君
China Subcommittee	吉村 雅明 君
Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Task Force on Strategic Planning	吉村 雅明 君
ASTIN セクション	藤井 康秀 君
IACA セクション	吉田 英幸 君

(16) 意見表明

- イ．平成 15 年 5 月、EC 報告書「将来の監督システムの設計に関する考察」に対する IAA コメントに対し、賛成として投票を行った。
- ロ．平成 15 年 8 月、IAIS「損害保険者および再保険者に対する技術的パフォーマンスとリスクに関するディスクロージャー基準」に対する IAA コメントに対し、意見を付した上で賛成として投票を行った。
- ハ．平成 15 年 8 月、IAIS「保険コア・プリンシプルとメソドロジーについて」に対する IAA コメントに対し、意見を付した上で賛成として投票を行った。
- ニ．平成 15 年 8 月、IAIS「再保険会社の監督基準」に対する IAA コメントに対し、賛成として投票を行った。
- ホ．平成 15 年 8 月、IASB「企業結合会計に関連する公開草案」に対する IAA コメントに対し、賛成として投票を行った。
- ヘ．平成 15 年 10 月、IAIS「ストレステストに関する指針」に対する IAA コメントに対し、意見を付した上で賛成として投票を行った。

ト．平成 15 年 10 月、IASB 公開草案第 5 号「保険契約」に対し、専門職の立場から意見書を IASB 宛提出した。

チ．平成 16 年 1 月、国際会計士連盟（IFAC）の国際監査・保証基準審議会（IAASB）の公開草案 ISA 第 240 号改訂「財務諸表の監査における不正の考慮に関する監査人の責任」に対する IAA コメントに対し、賛成として投票を行った。

リ．平成 16 年 1 月、保険契約の国際会計基準「フェーズ」の公開草案に対する IAA コメントに対し、意見を付した上で賛成として投票を行った。

ヌ．平成 16 年 3 月、報告書「保険者ソルベンシー評価のための国際的枠組み」について、ソルベンシー評価の枠組みに関して IAIS および他の監督機関との対話の基礎となるものとして、意見を付した上で賛成として投票を行った。

(17) 国際交流関係

来日した各国アクチュアリーと交流を図ったほか、次のとおり会議等に代表を派遣した。
(前述の会議等についても再掲)

平成 15 年 5 月 14 日～17 日 IAA 会議（於：オーストラリア シドニー）

吉田 英幸 君、阿比野 裕 君、河野 年洋 君、中村 亮一 君、吉村 雅明 君

平成 15 年 6 月 18 日～20 日 CIA 年次大会（於：カナダ ビクトリア）

吉村 雅明 君

平成 15 年 7 月 20 日～23 日 第 7 回 APRIA（アジア太平洋リスク保険協会）年次大会

（於：タイ バンコク）

米谷 悟 君

平成 15 年 8 月 24 日～27 日 第 34 回 ASTIN 会議（於：ドイツ ベルリン）

美添 泰人 氏（青山学院大学）

平成 15 年 9 月 17 日～19 日 第 13 回 AFIR 会議（於：オランダ マーストリヒト）

山下 実若 君

平成 15 年 9 月 20 日～23 日 IAA 保険会計委員会・実務基準小委員会（於：イギリス ロンドン）

藤井 康秀 君、阿比野 裕 君

平成 15 年 10 月 6 日～9 日 第 12 回 EAAC 会議（於：フィリピン マニラ）

寺阪 元之 君、大塚 忠義 君、近藤 達人 君

長澤 亮之 君、長舟 貴洋 君、吉村 雅明 君

平成 15 年 10 月 10 日～12 日

第 3 回 International Professional Seminar of Leaders of the Actuarial Profession and Actuarial Educators in Asia and the Pacific（於：フィリピン マニラ）

吉村 雅明 君

平成 15 年 10 月 26 日～29 日 SOA 年次大会（於：アメリカ オーランド）

宮本 淳 君

平成 15 年 11 月 9 日～12 日 CAS 年次大会（於：アメリカ ニューオリンズ）

川本 哲文 君

平成 15 年 11 月 19 日 台湾年次大会（於：台湾 台北）

山内 恒人 君、三好 茂貴 君

平成 15 年 11 月 21 日～27 日 IAA 会議（於：ドイツ ベルリン）

寺阪 元之 君、吉田 英幸 君、阿比野 裕 君
河野 年洋 君、田口 茂 君、吉村 雅明 君

平成 15 年 11 月 26 日、27 日

Joint IAA/Groupe Consultatif Education Conference（於：ドイツ ベルリン）

吉村 雅明 君

平成 15 年 12 月 18 日、19 日

シンガポールアクチュアリー会およびタイアクチュアリー会訪問（於：シンガポール、タイ バンコク）
寺阪 元之 君、多島 和夫 君

平成 16 年 2 月 18 日、19 日

インドアクチュアリー会第 6 回 Global Conference of Actuaries（於：インド ニューデリー）
石垣 英宣 君、池本 敦 君

平成 16 年 3 月 15 日、16 日 IAA 保険会計委員会・実務基準小委員会（於：イギリス ロンドン）

田口 茂 君、田中 浩一 君

〔評議員会〕

(18) 平成 15 年度評議員会の開催

平成 16 年 3 月 8 日、経団連会館にて開催した。平成 15 年度の事業概況および平成 16 年度の事業計画について審議した。

〔大学、関係官庁・団体〕

(19) 京都大学より保険数学の講師派遣の依頼があり、辻 芳彦 君（大同生命）、山本 明 君（日本生命）、湯浅 味代士 君（住友生命）を派遣した。

(20) 大阪大学より関西支部へ保険数学の講師派遣の依頼があり、鈴木 浩吾 君（大同生命）、湯浅 味代士 君（住友生命）、吉田 英樹 君（日本生命）を派遣した。

(21) 日本大学文理学部の依頼に基づく当会の推薦により、山本 信一 君（ニッセイ基礎研究所）が保険数学の講義を行った。

(22) 広島大学よりファイナンスに関する集中講義への講師派遣依頼があり、吉村 雅明 君（住友生命）を派遣した。

(23) 平成 15 年 6 月（財）生命保険文化センターより生命保険用語英和辞典改訂に関わる協力依頼があり、アクチュアリー会の視点から関連分野の用語解説等の検証に協力した。

(24) 平成 15 年 9 月 2 日～5 日の期間、名城大学において開催された統計関連学会連合大会の 9 月 4 日の企画セッション「統計学と保険」へ田中 周二 君（ニッセイ基礎研究所）、松山 直樹 君（明治生命）、吉村 雅明 君（住友生命）が参加した。

(25) 金融庁総務企画局国際課より、「保険会社のリスク評価に関する研究会」への参加要請があり、米谷 悟 君（三井住友海上）、河野 年洋 君（ニッセイ同和損害）を派遣した。同研究会は保険会社のリスク評価手法、リスクモデル、その内部管理上および監督上の利用に関する各国の実務家、学者による議論の動向について調査・研究を行う趣旨で設けられ、平成 15 年 5 月から 7 月までに 6 回開催された。

(26) 金融庁総務企画局政策課より、平成 15 年 8 月に開催する「保険監督事務初等研修」における講義科目「生命保険計理入門」および「損害保険計理入門」の講師の派遣依頼があり、「生命保険計理入門」の講師として山内 恒人 君（ソニー生命）を、「損害保険計理入門」の講師として古木 純二 君（損保ジャパン）を派遣した。

〔表彰関係〕

(27) 平成 14 年度資格試験成績優秀者の表彰

イ．理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 15 年 5 月 27 日に岩田 洋平 君（三菱信託）に理事長特別賞を、藤澤 陽介 君（住友信託）に理事長賞を授与した。

ロ．科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 4 名を表彰した。

谷尾 高志 君	（大同生命）	数学
末吉 英範 君	（野村総研）	生保数理
尾崎 輝恵 君	（朝日生命）	損保数理
平松 敬二 君	（個人）	会計・経済・投資理論

(28) 優秀論文の表彰

平成 15 年 11 月 12 日、年次大会において次のとおり表彰した。

イ．優秀論文の表彰 3 編

「動態的年金数理[1 要素複数基礎率]を使用した財政運営に関する考察」

「DB 年金制度の財政運営について」 島田 尚 君(第一生命)

「数理ファイナンスを応用した更新型定期保険の価格設定（米国のデータに基づいた考察）」

山本 信一 君、上田 泰三 君(ニッセイ基礎研究所)

「保険の国際会計基準と損害保険負債の時価評価」 浜野 雅章 君(三井住友海上)、

森本 祐司 君(インテグレイティド・ファイナンス証券)、田口 茂 君(東京海上)

ロ．IT 関連優秀論文の表彰 2 編

「リスクシナリオに基づくシステムリスク評価手法の提案」 IT 研究会第 5 グループ

「保険カードの IC カード化によるサービス提供」 IT 研究会第 4 グループ

〔広報・出版活動〕

(29) 広報活動

イ．広報誌「アクチュアリー」の配布

ロ．「アクチュアリーセミナー」の実施

主に学生を対象としたセミナーを、平成 15 年 11 月 15 日に東京(アクチュアリー会大会議室)で、12 月 6 日には大阪(住友生命 釣鐘倶楽部)で開催した。各々の参加者は 56 名および 15 名であった。

(30) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

イ．会 報 第 56 号

ロ．会報別冊 第 210 号 平成 14 年度資格試験問題集

第 211 号 トータルコンパニオン～ステークホルダーの観点から～

第 212 号 透明性の高い有配当保険へ - 公示自由主義

第 213 号 変額年金保険等の最低保証リスクに係る責任準備金の積立等について

第 214 号 第 43 回 IT 研究大会報告

ハ．アクチュアリージャーナル 第 48 号～第 51 号

ニ．関西支部研究会記録 第 39 号

ホ．統計データの数理モデルへの適用

〔図書関係〕

(31) 図書の充実

引き続き、図書室の図書の充実を図った。また、アクチュアリー会事務局移転に伴い、旧小石川事務局保管図書も合わせて図書室に受け入れた。この結果平成 15 年度中の図書の増加状況は次のとおり。

洋書 96 冊 和書 127 冊 計 223 冊

〔その他〕

(32) 東アジア・アクチュアリー講座 (ASEA)

SARS 問題等諸般の事情を勘案し開催を見送った。

(33) 事務局および五反田会議室の移転

平成 15 年 7 月 22 日より小石川事務局および五反田会議室を中央区晴海へ移転した。

〔関西支部〕

(34) 支部総会

平成 15 年 5 月 23 日、住友生命本社にて支部総会を開催し、

第 1 号 平成 14 年度事業概況に関する件

第 2 号 平成 14 年度決算および平成 15 年度予算 (案) 承認の件

第 3 号 平成 15 年度事業計画 (案) 承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

(35) 関西支部例会の開催

平成 15 年 9 月 5 日（於：りそな銀行本店）

「IAS Phase for Insurance Contracts - Implications」

J. Peter Duran 氏（ア-ソスト ア-ド ヤ-グ グロ-バル フィナ-シャル サービス）

平成 16 年 2 月 2 日（於：ヒルトン大阪）

「人口動態の変化が日本保険市場に与える影響」

Robert J. Pokorski 氏（Gen Re Worldwide Medical Research & Development）

(36) 関西支部研究会活動

次の 5 分科会を設置し、研究調査活動を行った。

保険計理分科会	委員長	植木 浩 君（大同生命）
年金分科会	”	杉山 元彦 君（りそな信託）
海外年金研究会	”	横山 武彦 君（りそな信託）
システム分科会	”	稲見 典生 君（住友生命）
アクチュアリーセミナー	”	浅川 真広 君（日本生命）

(37) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部においてアクチュアリー講座を実施した。受講者数および講師は次のとおりであった。

		受講者数	講 師
前期（7～9月）	生保数理	6名	高木 寛道 君（りそな信託）
後期（10～12月）	生保数理	6名	鈴木 浩吾 君（大同生命）